

(別紙)「亜麻」を活用した地域活性化プロジェクト

重要業績評価指標(KPI)	本事業終了時		数年後		平成28年度	実施状況	実施計画
	指標値	年月	指標値	年月	実績値		
自然環境講座開催 (保育園・小学校)	2回	H29.3	10回	H33.3	1回	本事業で試験的にイベントを開催	自然体験が学力に及ぼす影響が高いという事で、大都市圏では非常に山村の環境と体験事業に注目されている傾向にあり、教育、地域PR、交流、村の地場産業の素晴らしさを発信できる様積極的に取り組む。
農・林業等体験交流 (一般・村外児童)	20人	H29.3	100人	H33.3	25人	〃	
定住世帯(親子留学等)	1世帯	H29.3	5世帯	H33.3	1世帯 (H29 転入決定)	体験イベントを開催し、そこに参加していた家族が転入を決定	小学校等の学力向上事業や女性の働ける場所を確保する事で定住対策に繋げていく。
遊休荒廃地利用	0.5ha	H29.3	5ha	H33.3	0.05ha	本年度は試験栽培重視で行っていたので小規模な面積であった。	村内の農家のご協力を得て、遊休荒廃地を借りることができ、徐々に作付面積を増やしていく。メンバー増を図る。
地方版総合戦略における 基本目標と数値目標	基本目標:山村留学の拡充と教育学習に力を入れた地域として特徴を活かし、定住人口と交流人口の増加を促進する。 数値目標:社会移動 H27~31 +1人 基本目標:村ぐるみで出産や子育てを応援する村の魅力を高め、合計特殊出生率を高める。 数値目標:合計特殊出生率 H31 1.73						

(別紙)村有林を活用した林業活性化プロジェクト

重要業績評価指標(KPI)	本事業終了時		数年後		平成28年度	実施状況	実施計画
	指標値	年月	指標値	年月	実績値		
新規就業者	3人	H29.3	10人 (林業就業者)	H33.3	—	—	利害関係のない村有林を中心に、森林施業を行い、安定的な収入を得る。その中で雇用の場をつくる。
空き家活用定住・起業等支援事業	1事業	H29.3	3事業 (空家再生)	H33.3	—	—	乾燥技術の向上と高齢木のメリットをアピールし需要拡大を図る。また安定した建材の確保を図る。
村まるごと教室事業	20人	H29.3	100人 (参加者)	H33.3	60人	早稲田大学の屋外ゼミを受入、指導を行った。	大学等で自然環境を課題とした調査や子供の自然体験学習が学力向上にも結び付くという事で受入を強化
木材商品製造受注件数	5件	H29.3	50件	H33.3	—	—	民間企業と提携し、「売れるもの」を製造し、ショップの店頭販売及びウェブサイト販売、村内展示販売を行う。
地方版総合戦略における基本目標と数値目標	基本目標: 自然資源を活用して仕事と雇用を作り出す事により地域経済を活性化させる。 数値目標: 新規就農者・木材関連業5ヶ年5人						